



決 意

11月20日付けで 市議会議員の職を辞しました。

坂戸市の一般会計予算は約300億。埼玉県は約1兆8600億。
一般行政職員数は坂戸市が約560人。埼玉県は約6800人です。
どんなに市が頑張っても困難な課題があります。
だからこそ市議会議員の職を辞し、県の力を最大限活用し、
坂戸を変えるための活動をすることを決意致しました。

私が議員を志したのは、現実を変えるためです。

どのようにすれば現実が変わるのか。いつもそれを考えています。
私が考える、その答えが、県の力を最大限活用するという方法です。

県の力をテコにして、坂戸新時代を作ります。

推薦文

弓削勇人さんは私のもとで地方自治論を学び、秀れた研究論文を仕上げられました。同時に私は弓削さんから地方自治の現場の課題を教えてもらいました。弓削さんが一段と飛躍されることを心から願っています。

早稲田大学大学院教授 片山善博



2018年 2/2 (土) **ゆげ勇人講演会**

演題 **市民に必要とされる
県と県議会の役割とは**

早稲田大学大学院教授
元総務大臣／元鳥取県知事

●ゲスト講演 **片山善博**

●事前申し込み不要 ●入場無料

●場所：坂戸市ワークプラザ
坂戸市大字石井 2327-5
(国道407沿い、保健所の横)

●時間 18時 受付開始
18時30分 開演
19時30分頃 閉演

ゆげ勇人 プロフィール

1973年10月23日生 坂戸市清水町在住

履 歴

坂戸あずま幼稚園 卒園
坂戸市立千代田小学校 卒業
坂戸市立千代田中学校 卒業
埼玉県立朝霞西高等学校 卒業
明治学院大学 卒業
坂戸理容美容専修学校 卒業(理容師)
立教大学大学院 修了(経営学修士)
早稲田大学大学院 修了(公共経営修士)

現 在

理美容室8店舗、ドック美容室1店舗 経営
学校法人 北埼玉学園
グルノーブル美容専門学校 経営
坂戸市立千代田中学校 前PTA会長(4期)
西武文理高校 北斗星の会 学年委員(3期)
第一住宅坂戸団地自治会 青年会会長(4期)

ゆげ勇人事務所

ゆげ勇人

検索

住所 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田 1-4-17 電話 049-283-0922

FAX 049-283-0923 メール yugehayato@gmail.com



坂戸新時代
プロジェクト

坂戸市民の皆様へ

ゆげのチラシは字が小さくて
長いとよく叱られます。
お願いがあります。

いつもより、できるだけ簡潔に
書いたつもりです。

文字ばかりで恐縮ですが、
1分程度で読めますので、
私の考えを知ってもらえませんか。

ゆげ の 報告

ゆげゆげ  GOGO

市民の皆さまの生活を向上させるための一つの方法

坂戸はこれから、働く世代の減少による税収減と、高齢化による歳出増に見舞われます。そのために行政が出来ることは主に2つです。

1つは税収を上げて市民サービスを維持する。もう1つは、公共施設の統廃合や事業の廃止など、市民サービスの縮小により予算を削減する。

私は、歳出削減よりも税収増を図るために、働く世代の増加を目指す施策を思いきって実行するべきだと考えています。ですが、他市町村では行っていないような施策の実行は、財政的に簡単ではないことも理解しています。

ではどうすれば良いのか。

第3の方法があります。

それは、**「坂戸が行いたい事業や、坂戸が単独で行っている事業を、新たに県に実行してもらおう」という方法です。**

県が事業を始めれば、補助金が事業費の2分の1や3分の1程度支給されます。つまり、坂戸単独では難しい事業も、実現可能性が高まるわけです。また現在市が単独で行っている事業も、補助金が出れば、その分お金が浮くわけですから、他の事業に回すこともできます。

私は、**県議会の重要な仕事とは、「県全体をより良くすることではなく、県の力を借りて地元をより良くすること」**だと考えています。

坂戸のために行った県の施策が、より広範囲に県内全体へ影響を与えることは素晴らしいことです。ですが、それはあくまでも結果的に広がっただけであり、

最も重要な目的は、「坂戸市民の生活をより向上させる取組を、県の力を使いどのように行うのか」であると考えます。



県と市の関係性とはどのようなものか。

国の仕事はマスコミにも多く報道されますので、多くの国民が知っています。市の仕事は、市役所は身近にありますし、1度は足を運んだことがあると思います。では県はどうか。

県庁に行ったことがあるでしょうか？

県に何かお願いごとをしたことがあるでしょうか？

県の仕事は何か知っているのでしょうか？

多くの市民の皆さまはNOだと思います。なぜそういうことになっているのか。県の仕事は国の施策をより有効に実行するため、市町村との間に立ち、それをサポートすることが行政の主眼だからです。

つまり**県とは、国と市の間にいる中間管理職のようなものです。**

私は、優秀な中間管理職というものは、上司の方針から逸脱しない範囲で、部下の自主性に任せることができる人だと思います。現在の状況は、言い過ぎかもしれませんが、口うるさいだけで、現場を知らない上司のような面があります。(私自身も反省点は数多くありますが・・・)

どうすれば市の望む事業を実行できるのか？

県は県民のために存在しています。ですが、県民といっても、坂戸市に住む県民、さいたま市に住む県民、秩父市に住む県民では、行政ニーズに違いが出て当然です。医師の数を増やすことや、広域インフラの整備など、県が担うべき、全県的な視点も当然必要です。それは県がしっかりと行えば良い。

ですがもっとも大事なことは、**市の望む事業を、新たに県の施策として実行するよう、県に働きかけるということ。**

つまり**「市のことは市で決め、県はそれをサポートする」という、新たな流れを作るべきだと考えます。**

現在の事業の流れ

埼玉県

坂戸市

市民

事業の流れをこう変えたい

市民

坂戸市

埼玉県

先輩議員や市長、市職員の皆様から様々な勉強をさせて頂き、分かったことがあります。それは、予算があればやりたい改善案は、皆持っているということです。ひと・もの・金がどうしても足りないから出来ないんです。